

「バロン・デ・イグアペ  
街950番地リサイク  
ル・センター計画」

6月26日、サンパウロ市内において、当館が実施した平成13年度草の根無償資金協力「バロン・デ・イグアペ街950番地リサイクル・センター計画」の施設引渡式が行われました。

式典には、赤阪清隆総領事その他、被供与団体であるイマクラダ・コンセイソン・ド・ブラジル、フランシスコ管区の関係者、ケルジ・ジャコビセン・サンパウロ市国際関係部長をはじめ、地元関係者や住民の方々等、約300名が出席しました。

式典では、来賓の挨拶につづき、元路上生活者で今後実際に同リサイクル・センターで働く作業員が、「この場所は空き缶や紙等をリサイクルするところではありません。私のような路上生活者だった人間をリサイクルする場所なのです。」と感動的な挨拶を行って、出席者から万雷の拍手を集めました。

その後、敷地外壁に取り付けられた記念プレートの序幕、供与機材に貼り付した日の丸シールの序幕等を行いました。多くの関係者から我が国資金協力への厚い謝意が示されました。

このプロジェクトは、廃品回収でかろうじて生計を立てていた市内中心部の路上生活者を組織化して、サンパウロ市から借り受けた土地に我が国草の根無償資金協力でリサイクル施設を建設したのですが、リサイクル事業や市内美化という観点からだけでなく、路上生活者対策や失業対策という面からも意義のあるプロジェクトとなりました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「バロン・デ・イグアペ街950番地リサイクル・センター計画」

被供与団体：イマクラダ・コンセイソン・ド・ブラジル、フランシスコ管区

契約署名日：2002年2月22日

供与限度額：US\$56.071

案件概要：セントロ地区の生活困窮者によるリサイクル可能な古物の収集事業を支援するため、バロン・デ・イグアペ街950番地にあるリサイクル・センターについて作業用小屋を建設するとともに、ベルト・コンベヤー、プレス機、重量計、荷車等リサイクル可

能な古物の収集及び分別に必要な機材を整備するための資金を無償提供するものである。

イマクラダ・コンセイソン・ド・ブラジル、フランシスコ管区は、サン・パウロ市セントロ地区の路上生活者等生活困窮者の保護支援のため、パンの配布、シャワー及び洗濯、衣類等のバザー、就労支援、職業訓練、児童預かり、保健指導、医薬品供与等の事業をその主要活動の1つとして実施してきた。



完成したリサイクル・センター



日章旗ステッカーの序幕



記念プレートの前で記念撮影（右から3番目が赤阪総領事）